



おづっこ



おもいを伝え合う子 つづける子 つよくしなやかな子 ころもあたたかな子

小津小創立 150周年おめでとう！

暑さもようやく和らぎ、朝夕はめっきりと涼しくなってきました。気持ちのいい秋風とともに、学習に、運動に最適の季節の到来です。本校でも、運動会を皮切りに、1・2・3年生校外学習、6年生修学旅・市体育祭、おづっこ集会と子どもたちの心と身体を成長させる契機となる活動が目白押しです。活動そのものも大切ですが、そこに至る準備や練習、そして活動後の振り返りも大きな成長の機会です。さまざまな体験を通して、仲間とともに学び合うおづっこたちの姿が見られることが楽しみです。

さて、今年是小津小学校創立150周年です。今回は、学校の歴史についてお話しします。小津小学校は明治7年(1874年)に、杉江に杉江の久敬(くけい)学校、山賀の慶先寺(けいせんじ)に山賀・森川原・欲賀の知道(ちどう)学校、三宅の照養寺(しょうようじ)と蓮正寺(れんしょうじ)に大林・三宅・金森の醴泉(れいせん)学校の3つの学校が開校したのが始まりです。

その後、明治34年(1901年)10月13日に、今の小津小学校の場所に小津村立小津尋常小学校が建てられました。このことを記念して、10月13日が小津小学校の創立記念日になりました。その際、学校を建てるのに必要な費用は、すべて地元の方々の寄付によって建てられたそうです。当時の児童数は331名(現在は380名)でした。また、戦争の敗色が次第に濃くなってきた昭和19年(1944年)5月に、卒業生からピアノの寄贈を受け、子どもたちは嬉々として、歌い奏でたという記録が残っています。昭和30年(1955年)5月には、滋賀県下で初めてというプールの竣工式が行われ、7月8日にプール開きが開催されています。小津の人々は、子どもたちの教育のために協力を惜しみませんでした。シンボルツリーである前庭の大小2本の松の木は、現在の場所ではありませんが、明治34年にこの地に学校が建てられた時以来のものだそうです。地域の皆様の温かいご支援に支えられて、教育活動が続けられますことに感謝いたします。伝統を守りつつ、新たな歴史を刻んでいきたいと考えています。



おづっこの成長を見守る松の木



おづっこ伝統の組体操

なお、10月11日には、6年生児童26人による150周年実行委員会のメンバーたちが企画・運営します「150周年記念全校集会」を開催する予定です。現在、昼休みに力を合わせて準備中です。おづっこ全員で150周年をお祝いするのが楽しみです。